



広島東南ロータリークラブ 週報 2018年5月14日 (第2694回例会)

例会日 月曜日 ANA クラウンプラザホテル広島 Tel. 241-1111
事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 Tel. 221-4894
会長 伊藤正樹 幹事 菅 富誉樹



5月は「青少年奉仕月間」です

本日の例会

スケジュール

- 12:30 点 鐘**
ロータリーソング「我らの生業」
来客紹介 (親睦委員会)
会食
- 12:45 会長時間** (伊藤会長)
グローバル補助金奨学生 - 宮田春香さん
米山記念奨学生 - サパルバイ・ジャミリヤさん
幹事報告 (菅 幹事)
委員会報告
・出席報告 (出席委員会)
・その他
同好会報告
S.A.A.
- 13:00 プログラム**
13:30 点 鐘

会長時間

- 連続出席100%会員(5月表彰分)
- | | |
|------------|------------|
| 細田正雄君 27年 | 伊藤正樹君 20年* |
| 行武治子君 19年 | 神辺眞之君 15年* |
| 平岩由紀雄君 14年 | 岩田久夫君 9年 |
| 守下康弘君 5年* | 赤川浩二君 2年 |
| 渡邊直樹君 2年 | 高木康一君 1年* |
- グローバル補助金奨学生 - 宮田春香さん
○米山記念奨学生 - サパルバイ・ジャミリヤさん

幹事報告

- 退会のお知らせ - 松原 進会員
○例会終了後、次年度理事役員会開催

本日のプログラム

「新会員スピーチ」
荒木 裕三 会員 (株式会社広島銀行)

次回例会 (5月21日)

「新会員スピーチ」
安居院徳重 会員 (株式会社鴻池組)

お知らせ

ご 紹 介

2018-19年度グローバル補助金奨学生 宮田春香さん

【留学先】キングス・カレッジ・ロンドン
専攻コース：不拡散と国際安全保障

【略歴】1995年 広島市生まれ
1998年-2002年 アメリカ合衆国ミネソタ州ローチェスターに滞在
2008年 広島市立大河小学校卒業
2011年 国立広島大学附属中学校卒業
2012年 カナダ ケベック州 École Internationale Du Phare 留学 (1年間)
2014年 国立広島大学附属高等学校卒業
早稲田大学法学部入学
2015年 アメリカ ジョンズ・ホプキンス大学留学 (10ヶ月)
2016年 フランス パリ政治学院留学 (2ヶ月)
2018年 早稲田大学法学部卒業

【カウンセラー】菅 富誉樹会員
◎申請時小論文の抜萃を6ページに掲載しております。

2018学年度ロータリー米山記念奨学生 サパルバイ・ジャミリヤさん

【生年月日】1987年1月4日
【国籍】カザフスタン (外科医師)
【学校】広島大学大学院 歯歯薬保健学研究科
歯歯薬学専攻 博士課程 (消化器・移植外科学)
【指導教官】大段秀樹教授
(人物評) 2013.3月に1ヶ月程度、当科に手術や研究見学に来た際の彼女の優秀さや人柄を認め、彼女からの研究に対する強い希望もあり受入を決めました。英語が流暢で、研究を推進するにあたり語学面での支障は全くなく、日本語も積極的に学んだ結果、今では日本語でのコミュニケーションも取れるようになり有能です。人柄も非常によく、明朗、活発、勤勉です。
【研究テーマ】抗腫瘍応答における B 脂肪の役割と mTOR 阻害剤の肝臓内 NK 細胞に与える影響解析
【カウンセラー】天野國幹会員

今後の予定

★第3回経営研究会

と き 5月16日(水)18:30～
と ころ ANAクラウンプラザホテル広島 4F
講 師 渡邊直樹会員
演 題 「あなたの会社は大丈夫？
身近に潜むハラスメント問題」

★本・次年度合同クラブアッセンブリー

と き 5月21日(月)18:30～
と ころ ANAクラウンプラザホテル広島
出 席 (本次)理事,役員,委員長,リーダー

★子育て支援セミナー

「親子でわくわくリトミック」
と き 5月23日(水)10:30～11:45
と ころ 安佐南区区民文化センター2F

★インターアクト指導者研修会

と き 5月27日(日)13:00～
と ころ 呉工業高等専門学校

★第23回全日本RC親睦合唱祭

と き 6月2日(土)12:30～
と ころ 福井市(ホスト:福井南RC)

(★はマークアップ対象会合です)

6/25(月)当クラブの例会は

最終例会・懇親会(18:30～)です

<他クラブ例会臨時変更のお知らせ>

(現時点で発表分のみ記載)

05/16(水) 広島北 RC → 5/12
05/17(木) 広島西 RC → 夜間例会
05/31(木) 広島北 RC → 休会
06/25(月) 広島中央 RC → 夜間例会
06/28(木) 広島北・安佐 RC → 夜間例会

前回 2018年5月7日例会

卓話「原爆の子の像」と「6年竹組の仲間達」

語り部 川野登美子様



平和公園の中には、100を超える慰霊碑や像がありますが、子供達の募金だけで、立てられた像があるのをご存知ですか！

「原爆の子の像」が建立されて、60年たった今では、平和の象徴として日本中から、いえ世界から、折鶴が寄せられています。

像のモデルになった「佐々木禎子」と、私は、小学校のクラスメイトです。この像建立のキッカケを創った広島市立幟町小学校「6年竹組の仲間達」のお話をさせていただきます。

No.1 原爆投下

私は、爆心地から2,3キロ離れた、東区の牛田町で被爆しました。中学3年生だった兄は、爆心地に1番近い国泰寺中学校（当時旧制1中）で、爆死。下の兄は、比治山橋のたもとで被爆、半身に大火傷を負い、がんを併発して亡くなりました。私は、部屋の中において、かすり傷ひとつ追わずに済みました。

No.2 6年竹組

戦後9年、私は、爆心地から、広島市立幟町小学校に通っていました。クラスは、6年竹組、その中に「佐々木禎子さん」がいました。6年竹組は、他の組から、おんぼろ学級と言われていました。両親を原爆で亡くしたものの、家族の誰かを原爆や、戦争で亡くしたものの、南方からの引揚者の家族、クラスの半数以上がそういった環境でした。それでも、とても元気のいいクラスでした。佐々木禎子さんとは、何度もクラス替えがあったのに、小学校2年生からずっと一緒に組でした。私は、「禎ちゃん」と呼んでいました。禎ちゃんは散髪屋、私は仏壇屋。同じように、親が商売をして環境が良く似ていたせいか、大の仲良しでした。その頃、流行っていたゴムとび、縄跳び、鉄棒、ドッチボール、何をやっても禎ちゃんが1番で、体操の時間で、跳び箱を7段跳べるのは、女の子では、禎ちゃんと私だけでした。特に、走りっこは、男の子の誰よりも早く、それを悔しがる男子は、禎ちゃんを猿、猿とあだ名で呼んでいました。

No.3 リレーの練習

その当時、運動会が1年に2回ありました。春のこいのぼり運動会と、秋の大運動会です。

5月のこいのぼり運動会で、1番楽しみにしていたクラス対抗リレーでビリになりました。

私たちは、バトンを2回も落としてしまったのです。日頃元気のいい私たちは、悔しくてたまりません。野村先生から、『リレーいうもんは、勝手に走りゃええ言うもんじゃー無かろうがー。』『チームワークが必要なんや違うかー。』と言われました。そこで皆で相談をし、放課後、毎日全員でリレーの練習をすることに決めました。他のクラスからは、「竹組のやつら一勉強もせんで走ってばかりしおってー」と陰口も言われました。けれどもリレーの練習は毎日続けました。

No.4 秋の大運動会

秋の大運動会がやってきました。日頃の成果を發

揮できる日が来ました。紅白の勝負には全く興味がなく、注目とはにかくプログラム最後のクラス対抗リレーでした。私も禎ちゃんもリレーの選手です。今回は誰もバトンを落としません。2位を半周近くもリードして優勝したのです。

野村先生は「どうや、やればやれんことなかったの。クラスの皆が団結すりゃードベ組があつという間にトップじゃもんの一」と褒めて頂きました。そうして卒業まで毎日リレーの練習を続けたのです。

No.5 原爆症

そんな中、1月に入って突然禎ちゃんが学校を休みました。禎ちゃんは1年から6年まで一度も学校を休んだことがありませんでした。次の日、いつものように放課後リレーの練習をしていると、禎ちゃんのお父さんが禎ちゃんを迎えに来ました。リレーの練習をやめて教室に入ると、先生が「佐々木は今日から日赤へ入院することになった。幸い今は元気じゃがなかなか難しい病気らしい、佐々木は小さい頃に原爆におうとる。それが原因らしい」と言われました。私は禎ちゃんが可哀想という気持ちと、禎ちゃんではなく、もし私だったらという恐怖が同時に起こり、なんともいえない不安に襲われました。皆も同じ気持ちだったと思います。「のう、みんな、佐々木はこれから長い間病気と戦わにゃいけんのじゃ。みんなで励ましてやろうや。竹組の目標は団結じゃったのう、友達が苦しんでいる時は一緒に苦しんでやろうじゃないか」と、先生が言われました。

そして、毎日、交代でお見舞いに行きました。卒業の二日前に先生から「卒業しても何かあった時みんなで集まれるような会を作らんや」と云われました。私たちは会長を決めて「団結の会」という名前にしました。そこで、禎ちゃんのお見舞いを続けることを誓ったのです。

No.6 禎ちゃんと折鶴

クラス61名の内、40名が幟町中学校に進学しました。小学校を卒業しても、たびたび小学校や先生の家へ集まりました。「団結の会」の約束があったので、野村先生の家に行った日も、必ず禎ちゃんのお見舞いに行きました。

夏頃より中学校にも慣れてきて、お見舞いの回数が減ってきました。8月に病院に行った時、禎ちゃんの手足に紫色の斑点がいっぱいできていました。私がそれに目をやると、禎ちゃんは手足を布団の中に隠すのです。その頃より、病室の天井や、ベッドのまわりには、小さい折鶴がいっぱいぶらさげてありました。キャラメル紙や包装紙で鶴を折りながら、私に中学校の様子を何度も聞くのです。私は、禎ちゃんはもう中学校に行けないということを知っていました。無心に鶴を折る禎ちゃんが可哀想でなりませんでした。

No.7 禎ちゃんの死

秋に入り、私達は文化祭、運動会と学校の行事が多くなり、しばらく禎ちゃんのお見舞いに行っていませんでした。そんなある日(10月25日)の9時58分、禎ちゃんは中学校を気にしながら12歳の若

さで永遠の眠りについたので。その日の放課後、みんなで集まって、お寺へ行きました。そこには、お棺の中に禎ちゃんが、静かに眠っていました。「なんで禎ちゃんは死なにゃならんの、何も悪いことせんかったのに、なんでこんな目に合わにゃならんの、禎ちゃんに一体何の罪があったいうんねー」私たちの深い悲しみは怒りに変わって行きました。「ほんま、私ら禎ちゃんに何もしてあげられんかったねー」と誰かがぼつんと言いました。「こんなことなら、もっとお見舞いに行つてあげるべきじゃった。」重苦しい後悔の念が私たちを包みました。

No.8 血液検査の写し

そこへ禎ちゃんのお父さんが、1枚の紙切れを持って野村先生と何やら話していました。その時突然お母さんが「夏ごろじゃったが、禎子が「白血球が10万を超えると死ぬんじゃげな。」とわしに云うたことがある。」と言って大きな声で泣き出されたのです。その紙切れには、7月4日までの赤血球と白血球の数が印されていました。そこで私達は、初めて、禎ちゃんは自分が「原爆症」ということを知っていたのではないかと気づいたのです。

No.9 何かしなければ

禎ちゃんが亡くなって14日目に「団結の会」のほとんど全員が禎ちゃんの家に来りました。

「ほんま わしら一あいつのために何にもしてやれんかったのー」「月に一回、命日に墓参りをしよう」「墓は三次にあるけえ、遠いのー」「禎ちゃんの墓を建てよう、ピカで死んだんじゃげえ、きのご雲のような墓がええ」「おまえのー、墓を建てるのになんぼ一かかるか知るとるんかー」「莫大なお金がいるんでー」私達がそんな話をしている時、野村先生が河本さんという青年を突然私達に紹介し、「この人の話を皆聞いてくれ」と言われました。その河本さんの話の中で「他の小学校でも原爆症で亡くなった子供たちがいます。原爆で亡くなった子供たちの慰霊碑を建てたらどうでしょうか。」という提案がありました。禎ちゃんのために何かしなければ、という強い念があったので、私たちは一も二もなく賛同しました。そこで、像を作るのにはお金があるので寄付を集めようと決めました。

数日後、全国中学校長会議が広島公会堂で開かれるということを知り、そこでビラを配って寄付を呼びかけようということになりました。

私達は早速20円ずつ出し合って紙を買い、幟町小学校の野村先生の所に集まりました。

謄写版で手を真っ黒にして2000枚のビラを刷り終えたのは、もう8時を過ぎていました。

No.10 募金の呼びかけ

校長会議の当日(11月12日土曜日)、私たちの代表8名で公会堂に行きました。公会堂から会議を済ませて出て来られる校長先生に一枚ずつ丁寧に「お願いします、お願いします」と云いながら必死にビラを配りました。先生の中には、ビラを受け取って、くちやくちやくとして投げ捨てていかれる人もありました。けれども、熱心に読みながらスロープを降り、しばらくして、坂を、駆けあがってきて、「応援するけーね。頑張りんさい」と言って

くださる先生もありました。2000枚のビラを、1枚残らず校長先生に手渡しました。

No.11 「広島平和を築く児童生徒の会」

校長会議終了から20日も経たない11月末ごろから、全国から寄付金が幟町中学校に寄せられてきました。そのお金は、幟町中学校の生徒会が預かることになり、御礼の返事は「団結の会」の私たちが書きました。そして昭和31年に、原爆の子の像建設準備委員会が開かれ、広島市の小、中、高校から児童生徒100名が参加して「広島平和を築く児童生徒の会」の結成に至ったのです。

この時点で中学1年だった元6年竹組団結の会によって始まった運動は、広島全体の児童生徒の運動に変わり、日本全国の子供達の募金活動に広がっていったのです。平和を築く児童生徒の会が発足してから1年足らずで、昭和31年末には、当時のお金で540万円、現在に換算しますと10倍の5400万円の募金が寄せられたのです。

No.12 「原爆の子の像」除幕式

昭和33年5月5日に、「原爆の子の像」が平和公園に建立されました。全国から招待された児童を含め、500名にも上る出席者の中に私達はいました。像に掛けられた白い布が、静かに引かれ、5月の青空に美しい少女像が姿を現しました。

私は、力いっぱい拍手をしました。

3年間の苦勞がついに実を結んだのです。

像を建立するまでは、世界平和とか、核兵器の全面禁止とか、そんな雲の上のようなことなんか考えていませんでした。ただあったのは、禎ちゃんの霊前で約束したことを果たしたい、それだけだったのです。6年竹組は、中学校生活のほとんどを像の建立に費やしました。

一生で一番多感な時期にクラス全員で一つのことに力を注ぎ、そして完成することができたのです。秋の大運動会で、リレーの練習をやり続け、見事に優勝できた、あの時の喜びに似た、それ以上の充実感を得たのです。

野村先生の「団結」「継続」という言葉が体験を通して深く深く心に残ることとなりました。

No.13 語りべ

自分の白血球が「10万を超えると死ぬ」と知りながらも、鶴を折り続けた禎ちゃん。

自分の病や、苦しみを乗せて千羽の鶴が空に運んでくれる！と信じ、一羽一羽願いを込めて折り続けていました。

願いのかなわなかった禎ちゃんの無念を考えると・・・命の尊さを感じずにはられません

その後、映画化され、小説に書かれ、メディアでずいぶん取り上げられましたが！

当時12歳の、私たちには、あまりにむごい体験で、つらい悲しい出来事として、心に重くのしかかり、その後、禎ちゃんのことを話すことを、封印したのです。私と禎ちゃんは、同じように被爆し、禎ちゃんは生き続けられなかった。けれども、私はこうして生かされています。禎ちゃんのことを、思うと・・・ずっと、心が痛んでいました。

戦後50年という節目の年、平成7年(1995年)、「平和と経営」のテーマで中小企業家同友会の全国女性交流会が広島で開催されました。

その時、「原爆の子の像」建立の話をする機会を頂きました。同級生、担任の野村先生、今は亡き私の母の後押しがあって初めて、皆様の前で話しをしました。

禎ちゃんについて話すことを封印して38年、私にとって大きな決断でした。

歴史として聞き流すのではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事だったということを知ってもらい、平和な世の中にするために一人一人がどんな小さな事でも自分に何ができるか考えてもらおうきっかけにしてもらいたいと願っています。

原爆の子の像の台座にはこのような言葉が刻まれています。

これは、僕らの叫びです。
これは、私たちの、祈りです。
世界に、平和を築くための

No.14 「折鶴ノートプロジェクト」

最後にお問い合わせがございまして。

語りべを始めて、4半世紀、今年の1月、中小企業家同友会のメンバー13人が、発起人となり「折鶴ノートプロジェクト」を立ち上げました。

全国から寄せられた平和公園の折鶴をノートに再生し、世界の子供たちへ「無償配布」することで平和の大切さ、命の尊さを伝える活動です。

平和を願う気持ちがこもった折鶴が「カタチ」を変え、子供たちに活用されることで、平和を考えるきっかけとなり、平和の心を育んでもらえればと願っています。このプロジェクトは、皆様からの協賛金で運営しております。詳しい事は、配布させていただいています資料に書かせていただいています。この活動に、ぜひご賛同いただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。

5月7日 累計：1,426,122円 (本例会 387,000円)



○古本由美・奥道恒夫・馬場崎好美・岩井正喬・杉山顕彦・蔦尾健太郎・柄 博治・神辺眞之：5月に誕生日を迎えられる会員の皆様、お誕生日おめでとうございます。(各1口・合計8口)

○澤田 清：4月26日(木)先勝 に双葉工業様本社工場再構築工事の起工式を挙げて頂きました。工期限内に、安全で高品質な建物を納めさせていただきます。(5口)

○菅富誉樹：①長女が無事みずほグローバルカンパニーに入社し、社会人としての第一歩を踏み出しました。仕送りも一段落かとほっとしています。②長男が先週、ワールドスカラーズカップ(世界学生ディベート大会)日本予選で総合優勝し、日本代表で世界大会に行くこととなりました。(5口)

○岩井正喬：去る4月29日、14ロータリーゴルフ大会でシニア優勝し、団体戦3位への貢献、そして当クラブの月例でも優勝しました。盆と正月が一度に来たような嬉しい一日でした。(3口)

○古本由美：①5月1日、60回目の誕生日、たくさんの方に祝って頂き、子ども達と楽しい連休を過ごせました。②鳥居先生のレッスンに入りました。とても楽しいです。(2口)

→鳥居比路会員より1口ご出宝。鳥居会員のフィットネスジム会員の今井廣志会員・杉山顕彦会員・柄 博治会員・上田康博会員からも各1口出宝。(合計5口)

○武士末修：4月度麻雀同好会で優勝しました。2連覇です。(人数が少なく1卓でしたが)(2口)

○荒木康之：妻の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。(1口)

○小松原浩平：妻の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。(1口)

○藤川佳應：先日のマツダスタジアムでの試合で記念すべきランニングホームランを打つことができました。草野球人生において忘れられない一打となりました。(1口)

○吉田範子：いつもお世話になっております。R I エコーの衣装の納品日などについて、お知らせさせていただきます。関係者の方にはお手紙を配布させていただいております。(1口)(以下抜粋) 納品日：男性5/14例会前、女性5/21・5/28例会前

○カエルボックス：(4口)



麻雀優勝の武士末 修君

会員エッセー

世界と日本

2018.5.1



杉井 英彦

三寒四暑・自然は狂っているように見えます。自然だけでなく社会も人もおかしい。トランプ プーチン 習 金・・・変な人がトップの国があり、平和か戦争か雲行き怪しく世界の人々は首をすくめて見守っているところではないでしょうか。

ところが、ここへ来て金さんの「微笑み外交」・・・(ノーベル平和賞ものですよ)トランプさん始め各界のおえら方や評論家諸氏のご意見を聞いても、真意の程は全く分からない。自然現象と同じでこれからどうなるものやら首をすくめて見守るのみ、ですね。

振り返ってわが国の状況は・・・なぜかよく分からないけれど野党6党の【安部にくし】の「安部おろし」の大合戦・・・降ろして後誰に政権を任せようと言うのでしょうか？ 野党6党に能力ある人いますか？ {自民党でもあのやぶ睨みの方では世界的に見て絵にならないと思います}

雀の学校ではないですがたった二人の政党を含め6党全部合わせて支持率は、自民党の半分以下ですよ！！ 給料を貰って審議拒否・・・世界の大問題に眼をつぶってモリカケ。

事態は流動的・・・戦争か平和か？ 何もしないでのほほんと平和のタダ乗り七十年は9条の成果ですか？ 雀の学校・口とんがらせて大声でモリカケとわめくのはやめて真剣に考えてください！！

【追記】 2018.5.6.

今朝のテレビによれば、イラン問題も中東危機として、大変らしい。核開発・民族/宗派等に関してイスラエル・サウジアラビア・アメリカ VS イラン・アサドシリア・ロシア・中国・・・そしてこれに今世界の注目の北朝鮮が核について係わっているとのこと。世界大戦の火種がここにもある。コップの中の争いをすぐ止めて対応を考えるべきときではないか。

「野球観戦親睦家族会」

報告：親睦担当リーダー 早田 良二

5月9日(水)、前日の雨もどこへやら、やはり日頃から行いの良い集団である広島東南 RC メンバーは天候も味方につけ、快晴の中、ZOOM-ZOOM スタジアムのパーティールームにて総勢150名参加のもと野球観戦家族会が開催されました。

親睦委員会メンバーは15時に現地集合し、さっさと準備を済ませるとフリードリンクをいいことに早速ビールで乾杯！メンバーが来場するのを待ちました。

17時頃には続々と集まり、18時、田上副会長の乾杯の音頭でゲームが開始されました。子供たちは大興奮の応援を繰り広げカープ勝利の後押しをしました。一方、皆さん激しい応援かと思いきや美味しい料理とお酒がメインになっていたようにも思えました。

広島 vs. DeNA 7回戦の戦評

広島は5回裏、2死二塁から相手の失策の間に二塁走者が生還し先制する。一方のDeNAは、1点ビハインドの9回に倉本が適時打を打ち、土壇場で試合を振り出しに戻した。試合はそのまま延長戦に突入するも、両軍の救援陣が踏ん張り、規定により引き分けに終わった。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	安	失
DeNA	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	13	1
広島	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0

9回2アウトまでリードしていたカープ。これで気持ち良く帰れるかと思いましたが、同点に追いつかれしまい延長となり引き分け。寒い中、最後まで残ったメンバーの皆さんお疲れ様でした。今回の設営にあたり(株)新星工業社・佐々木誠会員の多大なるご協力がありましたことを、この場をおかりしまして、ご報告させていただきますとともに、クラブ全員より御礼申し上げます。感謝。



2018-19年度グローバル補助金奨学生 申請時小論文より(抜萃)

希望する専攻分野、および将来のキャリア計画

私は広島で生まれ育ち、幼いころから平和教育に触れる機会がたくさんありました。特に、小学校3年生時に祖父から聞いた被爆体験はそれからの私の人生の方向性を決める出来事となりました。大学では様々な学問を用いて核という課題に取り組んでいます。主専攻の法学では、国際法というアプローチから東京地裁の下田判決や国際司法裁判所の核兵器使用に関する勧告的意見を研究しました。また、留学先のジョーンズ・ホプキンス大学では国際関係学を中心に学び、国家と核兵器について特に考察を深めました。その後、パリ政治学院では人間の安全保障という分野から個人と核兵器について学びました。早稲田大学のGlobal Leadership Fellows Programでは核エネルギーの平和利用について一年間かけてグループ研究発表を行い、現在卒業論文として日本の核外交の歴史と展望について執筆しています。このように、4年間の大学生活で核兵器を軸に様々な分野をまたいで学んだ結果、大学院では国際関係学のアプローチを用いて核兵器について研究を深めていきたいと考えています。様々なアクターの関わる国際社会においてどのように核不拡散・廃絶を進めていくためのシステムが構築できるのかについて考えていきたいからです。



宮田春香さん

将来的には、国連軍縮部や包括的核実験禁止条約機関準備委員会(CTBTO)といった核兵器をはじめとする兵器の不拡散に携わる国際機関で働くことを考えています。ヒロシマやナガサキが二度と起こらないような国際協力体制を整備することが核の不拡散、長期的には核廃絶につながるのではないかと考えるからです。

希望留学国および希望留学機関を選択した理由

前述の通り、大学院では核不拡散・廃絶を進めるための国際的なシステムの構築について学びたいと考えているのですが、この際に被爆国日本という立場ではなく、より幅広い視差が必要だと考えました。そこで、世界中から共通の関心を持つ学生の集まるイギリスに惹かれました。アメリカ留学時に核兵器についての授業を受けた際、アメリカ人の学生と日本人との核兵器に対する姿勢の差に衝撃を受けました。被爆国である日本は、人一倍反核意識が強いのにに対し、アメリカでは核兵器を戦略的に利用することを念頭に置いていたのです。核保有国であるイギリスで学ぶことで新たな視点を得られるのではないかと考えています。また、キングス・カレッジ・ロンドンで開講されている「Non-Proliferation & International Security」は、私の進学できるプログラムの中で唯一、核兵器をはじめとする大量破壊兵器にフォーカスを当てていたため、この大学院こそが私の行くべきところだと感じました。国際関係学を中心に、歴史、政治、科学、哲学や社会学といった多様な視点から大量破壊兵器の不拡散について考察を深めることができることも魅力の一つです。

情報発信コーナー

No.005



岩垂 鈴香

広島東南ロータリー会員の皆様、こんにちは。

会員の岩垂鈴香です。

最近、例会にほとんど出席せず大変申し訳ありません。現在わたくしは、例会のある月曜日、美容外科学会の中でとても有名な先生の病院に手術の助手で通っております。そのおかげで、自分の腕が磨かれて?いるように勘違いしそうなのですが、とても勉強になっています。例会に出席できる際には必ず出席いたしますので、今後とも宜しく願いいたします。ところで、先日当院の近くの福屋前で盲導犬の募金活動が行われていました。その時配られていたワンちゃんの写真がかわいかったので掲載させていただきます。



情報発信コーナー

No.006

五日市港物流センター (BC)



弊社五日市港 BC は平成 28 年 8 月に竣工いたしました。敷地面積 2500 坪・倉庫 994 坪・天井クレーン 5 t+5 t (ダブルホイスト) 2 基 10 t+5 t (ダブルホイスト) 1 基 15 t (シングルホイスト) 1 基を設置し、他鋼材をカットするバントソーを 1 台倉庫内に設置している鋼材型倉庫になっています。

現在は鋼材・金型・建築資材・自動販売機・一般鋼材・電線ドラム等を保管・配送・スルー配送とする物流デポと近々のドライバー不足に対応する形で近隣の五日市港を利用しての船舶を利用しての保管・切断・輸送を行うスタイルで運営を行っております。尚、東南ロータリークラブの大先輩方のお力をお借りし、用地取得においては山下さん、倉庫の建築においては錦織さん、倉庫内のバントソーの機械においては吉岡さんとお力添え頂いて運営が出来ております。弊社倉庫近隣へお立ち寄りの際は是非倉庫へ遊びに来てください。



今井 廣志